

「大人の条件」

2023・8・28 校長 重枝一郎

みなさんは大人ですか？ 子どもですか？ 中高生にとってこれは難しい問いだと思います。ある場面では「もう子どもじゃないんだから、しっかりしなさい！」と叱られて、また別の場面では「子どものくせに生意気言うな！」と叱られたりします。誰かの都合で大人扱いされたり、子ども扱いされたりします。とても不安定な年代だと思います。

では、大人の定義は？ 成人年齢？ 働いている？ 一人暮らし？ 税金を納めている？ 人によって思う基準はいろいろあるから難しい問いになるのだと思います。

私はある人の本を読んで、これが「大人の条件」としてはいいんじゃないかと思いました。学校生活を送っているみなさんを見て、「成長する条件」にもなると思ったからです。その本には次のように書かれていました。

- ◆ 自分の得意なことで、誰かに「ありがとう」と言ってもらえる人
- ◆ 自分の足りないところを、誰かに頼ることができる人

そして・・・

私たちは自分一人だけで生きていくことなど絶対にできません。どんな優秀な人でも、どんなに腕っぷしに自信がある人でも、どんなにお金持ちでも、必ず他者と関りながら生きている社会的な生き物です。

そこで大切になるのが、他者とどんなふうにつながっているか、「自分の得意なこと」を、他者を打ち負かす武器として使っている人は、強くはあっても「大人」だとはいえないと思います。また、「自分に足りないところ」を素直に認めず、隠したりごまかしたりしている人も「大人」とは言えないと思います。

得意なことで感謝され、助けを求めたときに喜んで力を貸してもらえる、そういう支え合える条件が整った人こそが、本当の「大人」なのだと思います。

と話しています。

私はみなさんがいきなり「大人」になるわけではないと思います。今現在の続きで「大人」になります。今、自分が得意なことを活かして、誰かに「ありがとう」を言うてもらおうことをやってみてほしい。それは特技のようなものでもなくてもいいのです。毎日掃除の時間に一生懸命していたり、さわやかなあいさつをしたりでいいのです。

また、自分が足りないところを認め、仲間を頼ることをやってみてほしい。勉強や活動などでわからないことがあったら聞いてみたりするのです。つまり、みなさんが生活する場には人がいるので、「大人」になるための条件はすっかり整っているのです。「もう大人だから」と自分のオリジナル人生を進むこともできます。

私は入学式等で「守られている間に、守る力を」という言葉を発信しています。学生時代の過ごし方は、みなさんのこれからにとっても影響していきます。私は、みなさんがどんな選択をし、行動していくのか見守りたいと思います。みなさんが、一人の「大人」としてそれぞれの人生を歩んでくれることを心から願っています。